

松浪地区まちぢから協議会
令和3年度第2回防災対策部会議事録

防災対策部会
 部会長 中井汎（浜一）

日 時：2021年7月15日（木） PM 7:00～8:30
 場 所：松浪コミセンホール1・2
 出席者：前田会長、14自治会会長、防災部関係者（25名）
 茅ヶ崎市防災対策課：成瀬課長補佐、鈴木氏

【概要】

第1回会議の合意事項（コロナの制約下で実行可能な防災訓練を検討する）を踏まえ、事前に茅ヶ崎市防災対策課と意見交換を行い、別紙「松浪地区防災訓練の検討」により提案を行い議論した。

【結論】

- (1)以下の通り防災訓練を計画する。
- (ア) 日時：2021年11月13日（土）
 - (イ) 場所：松浪コミュニティセンター
 - (ウ) 内容：研修①避難所運営マニュアル 研修②避難所運営ゲーム（HUG）
 午前の部、午後の部の2部制、内容は同じ。
 - (エ) 実行委員会を設け、参加人数、グルーピング等について決める。
 - (オ) 防災対策課から講師、指導者の派遣をお願いする。
 - (カ) 安否確認訓練：必要とする自治会は別途計画とし、一律には実施しない。

(2)実行委員会とメンバー

主に募集人数、HUGのグルーピング等について検討。
 松浪小学校区：中井・澤田（浜竹1）、上原（浜竹2）、狩野（浜竹3）、
 佐久間（松浪1）、朝岡（美住）、渡邊（ひばりが丘）
 松浪中学校区：長谷川（松浪2）、末松（浜竹4）、佐藤（富士見町）
 緑ヶ浜小学校区：刈間（緑が浜）
 汐見台小学校区：田村（汐見台）

(3)今後の予定

- (ア) 実行委員会 9月16日（木） PM 7:00～ 1時間程度
 於：松浪コミセン2Fホール
- (イ) 第3回防災対策部会 10月21日（木） PM 7:00～ 1時間程度
 於：松浪コミセン2Fホール

【主な意見】

〔事務局提案〕

- ・コロナ禍の制約と別途「令和3年度災害対策防災拠点打合せ」で紹介された「避難所運営マニュアル」（各小中学校）をベースとして検討した。
 「避難所運営マニュアル」は具体的に記載され、レベルアップしている。
 「避難所運営は市職員や学校職員だけでなく、避難者や地域の自主防災組織、防災リーダーを中心とした自主的な避難所運営が必要となる」等の記載があるが

- 地域に対する教宣は不十分であり、
「避難所運営マニュアル」＋「避難所運営ゲーム」(HUG)の組合せで地域の防災の核になる方々に広めることは効果高いと考えられる。
- ・内容は研修会形式であるが、今回は訓練とみなし、具体的活動を伴う避難所設営訓練等はコロナの終息後計画することが合意を得やすい。

〔参加者意見〕

- ・避難所運営はこれまで市職員が中心と思っていたが、自主防災組織が中心となるのが、マニュアルに明記されているのか。
- 市⇒災害の種類・地域によって対応は異なるが、市と避難者、自主防災組織の協力が必要と考えている。
- 避難所設営は配備職員の配下で自主防災組織が参加する形となる。

- ・台風対応の避難所運営準備が先ではないか。
- ・ロールプレイングゲームより設営訓練が大切ではないか。設営にはベテランの指導も必要。防災資機材の所在がわからない。教室には机、椅子があり設営に難儀する。
- ・2年前松浪中学で避難所設営訓練を行った。大人数が必要。
- ・自家用車での避難所避難は禁止されているが熊本地震の事例を見ると再考も必要ではないか。

市⇒避難所収容人数について

- ・東日本大震災難者。市全体≒2,000人、松浪中学≒100人。
コロナ対策を考慮し、現在、小中学校1校当たり、1,000人程度の受入れを想定。
市全体では3万人程度。

⇒今回はコロナ禍の制約があり、今回提案した内容が実行可能と考えられるので本案をベースに検討する。

以上

(文責 浜一防災部長 澤田 光康)